

スピードスケート
全日本選手権
 スピードスケートの全日本選手権は26日、北海道帯広市の明治北海道十勝オーバルで後半2種目が行われ、男子は土屋良輔(メモリード)が日本新記録の153・155点で初の総合優勝を果たした。首位で後

半2種目を迎えた24歳の土屋良輔は最終の1万円で1位だった。土屋陸(日本電産サンキョー)が2位。山本大史(八戸西高)は157・392点で6位に入った。

女子は3種目を終えて首位だった高木美帆(日体大助手)が今後の大会へ向けた調整のため最終の5000

0位を棄権。
 高木菜那(日本電産サンキョー)が1500円で2位、5000円で4位となり、165・721点で4大会ぶり2度目の総合女王となった。総合2位は酒井寧子(茨城県競技力向上対策本部)。澤尻磨里英(八学大)は172・716点で8位だった。